

平成 18 年 9 月 19 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア プ ラ ス  
代 表 者 氏 名 取 締 役 社 長 山 本 輝 明  
( コード番号 8 5 8 9 大 証 第 一 部 )  
本 社 事 務 所 大 阪 市 中 央 区 南 船 場 四 丁 目 1 番 9 号  
問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 野 口 郷 司  
最高財務責任者  
TEL (03)5229-3735(直通)

### 平成19年3月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年5月22日に公表いたしました平成19年3月期中間期(平成18年4月1日~平成18年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 平成19年3月期中間期業績予想の修正(平成18年4月1日~平成18年9月30日)

##### (1) 単体

(単位:百万円)

	営 業 収 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	52,500	6,300	6,500
今 回 修 正 予 想 ( B )	52,500	3,000	500
増 減 額 ( B - A )	0	3,300	6,000
増 減 率	-	52.4%	92.3%
ご参考:平成17年9月期(6ヶ月決算)	49,311	6,191	7,513

##### (2) 連結

(単位:百万円)

	営 業 収 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	56,500	6,800	7,000
今 回 修 正 予 想 ( B )	57,000	3,200	700
増 減 額 ( B - A )	500	3,600	6,300
増 減 率	0.9%	52.9%	90.0%
ご参考:平成17年9月期(6ヶ月決算)	49,562	6,474	8,039

## 2. 修正の理由（個別および連結）

当社の事業を取り巻く厳しい環境にもかかわらず、当中間期の営業収益は、ほぼ計画どおりに進捗しております。

一方、当社は、長期的・安定的な成長を図るために、新しいビジネスモデルの確立に取り組んでいます。現在の市場環境を踏まえ、継続的な合理化、より効率的な事務処理システムの導入、厳格なリスク管理の実施に取り組んでいます。

その過程において、法令の遵守ならびにお客さまの保護を目的とした回収体制の見直しを行ったことに伴い、一時的に回収事務に遅れが生じたため、延滞債権が増加したことなどにより20億円程度の貸倒引当金繰入額が増加する見通しとなったこと、および、大口取引先の破産の影響により一時的な損失の発生が見込まれること、ならびに、予想を上回るペースでのクレジットカード会員数の拡大の影響で、カード新規発行費用の増加などの要因が重なったことなどの結果、営業費用が当初予想より30億円程度増加する見通しとなったことなどにより、経常利益が当初予想に比べ減少する見込みとなりました。

また、中間純利益につきましては、上述の要因に加え、今後の収益見通しを保守的に見積もることにより、繰延税金資産を20億円程度取崩すことなどにより減少する見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては現在見直しの作業を進めており、内容が判明次第改めてお知らせいたします。現在の経営環境を考慮すると、すでに公表している通期の業績予想は達成しない可能性があります。

（注）なお、本資料に掲載しております業績予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものです。また、この前提には出資法上の貸付上限金利が現行の金利より低い水準に引き下げられた場合の追加的な影響は織り込んでおりません。

以上